

キャベツ (1) 耕種的防除法等

病虫害名	防除適期	防除方法
黒腐病	植付前 生育中	○ 連作を避ける。 ○ 健全な種子を選ぶ。 ○ 病原菌は、カタツムリ、キスジノミハムシ、ナメクジ、ネキリムシ等の害虫による傷口から侵入するので、これらを防除する。 ○ 台風などで株が傷んだ後は速やかに防除を行う。
根こぶ病	植付前 収穫時	○ 連作を避ける ○ 排水を良くし、酸性土壌では酸度を矯正する。 ○ 抵抗性品種を作付けする。 ○ 収穫と同時に根を抜き取り焼却する。
菌核病	植付前 生育中	○ 連作を避ける。 ○ 被害株は、早めに取り除いて焼却する。
軟腐病	植付前 生育中	○ 連作を避ける。 ○ 発病の多い畑では、播種期をできるだけ遅らせるか、晩生品種を栽培する。 ○ 病原菌は、カタツムリ、キスジノミハムシ、ナメクジ、ネキリムシ等の害虫による傷口から侵入するので、これらの発生に注意する。
モザイク病	植付前 生育中	○ 播種期を遅らせ、抵抗性品種を栽培する。 ○ 苗床を寒冷紗で被覆する。 ○ 発芽初期から、周辺のほ場も含めて媒介昆虫のアブラムシ類の発生に注意する。 ○ 発病株は、抜き取り処分する。
黒斑細菌病	植付前 発病初期	○ 健全な種子を選ぶ。 ○ 連作を避ける。 ○ 台風などで株が傷んだ後は速やかに防除を行う。 ○ キスジノミハムシ、その他土壌害虫の発生に注意する。
根朽病	植付前 定植時	○ 連作を避ける。 ○ 苗床は排水を良くし、過湿を避ける。 ○ 定植時に苗の根をよく調べて被害苗を取り除き、焼却する。